

埼玉大学教養学部多文化キャンパスセミナー 危機に瀕するリベラル国際秩序

ウクライナ、イスラエル・パレスチナ、インド太平洋情勢から読み解く激動の世界



本セミナーでは、ロシアによるウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナ紛争の激化、中国台頭によるインド太平洋地域での地政学的リスクの高まりといった、現在進行中の様々な紛争や対立について理解を深め、危機に瀕するリベラル国際秩序の行く末を議論します。多様な国家や民族、宗教や文化が共存できる道はあるのか。学生を含む参加者の皆さんと一緒に考えます。

【日時】 2024年1月26日（金）18：00～20：00

【場所】 埼玉大学教養学部棟2階 大会議室

【プログラム】

◆開会の辞◆

「混迷を深める米国のバイデン外交とリベラル国際秩序」

草野大希(埼玉大学大学院人文社会科学研究所教授)

■ウクライナ■

「ポスト植民地主義的なウクライナ戦争の終結は何を意味するのか？」

松寄英也(津田塾大学学芸学部国際関係学科准教授)

■イスラエル・パレスチナ■

「イスラエル・ハマス衝突における西側リベラル外交の限界」

金谷美紗(三井物産戦略研究所主任研究員)

■インド太平洋■

「米中の戦略とASEANの外交がつくる新しい地域」

勝間田弘(東北大学大学院国際文化研究科准教授)

【主催】 埼玉大学教養学部グローバル共修推進委員会（多文化キャンパス事業）

【問い合わせ先】 kus1saku@mail.saitama-u.ac.jp（草野大希）

【参加申し込み】 参加人数の把握のため、

次のURL <<https://forms.office.com/r/SePUVkvFvt>> またはQRコードからお申し込み下さい。

